

令和 5 年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(令和 4 年度事業対象)

美里町教育委員会

— 目 次 —

I	美里町教育委員会事務事業評価の基本方針	1～2
II	教育委員会の活動状況	3～6
III	点検・評価の結果	
	【学校教育点検・評価項目一覧表】	7
1	学力向上支援事業	8
2	学習支援員事業	9
3	心の教室、子どもと親の相談事業	10
4	学校図書館図書業務支援事業	11
5	小学校外国語指導事業	12
6	地域学校保健委員会補助金事業	13
7	学校部活動補助金事業	14
8	全校体育補助事業	15
9	集団宿泊教室事業	16
10	芸術鑑賞補助金事業	17
11	特色ある教育推進事業	18
12	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）	19
	【社会教育点検・評価項目一覧表】	20
1	人権教育推進協議会補助金事業	21
2	青少年育成町民会議補助金事業	22
3	放課後子ども教室事業	23
4	歴史探訪講座等の開催事業	24
5	美里町文化協会補助金事業	25
6	地域学校協働本部事業	26
	【社会体育点検・評価項目一覧表】	27
1	美里町ナイター陸上記録会	28
2	中学校野球美里大会	29
3	町民体育祭	30
4	美里町駅伝競走大会	31
5	美里町新春霊台橋マラソン大会	32
6	宇城中学校新人駅伝大会	33
7	中学生ソフトテニス美里大会	34
8	中学生女子バレーボール美里大会	35
9	宇城地区高等学校野球美里大会	36

I 美里町教育委員会事務事業評価の基本方針

1. 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに公表する。

このようなことから、本町教育委員会でも効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、外部評価委員会による教育委員会所管の事務事業の点検を行う。

2. 点検・評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。
- (2) 評価の客観性、透明性を確保するため外部評価を行う。
- (3) 評価の対象・方法は、毎年度見直しを行う。

3. 点検・評価の対象

- (1) 教育委員会の活動状況

- ① 定例及び臨時教育委員会の会議状況
- ② その他の活動状況

- (2) 教育委員会の所管する事務事業

教育委員会が所管する事務事業について教育委員会事務局で協議し、教育委員会で選定する。

4. 点検・評価の手順

- (1) 教育委員及び教育委員会事務局による自己評価
- (2) 外部評価委員による評価
- (3) 報告書の作成
- (4) 教育委員会で報告書の作成
- (5) 議会への提出及び公表

5. 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により有識者の知見の活用については、点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む5名の外部評価委員に、対象事業についての意見をいただく。

外部評価委員名簿

井 上 正 広	鳴 瀬 信 介	隈 部 淳 一
早津田 直 子	西 川 葉志子	

6. 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会として今後の方向性を下記5つの中から選択する。

拡 充	事業規模・内容をより拡大・充実し継続すべき事務事業
維 持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
縮 小	現在の方向性でよいが、事務規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
改 善	現在の方向性から見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
完 了	完了した事務事業

(参考)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 教育委員会議の開催状況

1 教育委員会議

美里町教育委員会の会議は、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む）が教育行政の基本方針や教育委員会の規則等の制定改廃など、会議において議決を要する事項について次のとおりです。

令和4年度の教育委員会議の開催状況は次のとおりです。

期 日	場 所	議 決 事 項 等
令和4年 4月22日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議 室	・専決処分事項(令和3年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申)の報告及び承認を求めることについて ・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町立小中学校の主任等の任命について ・美里町立小中学校の共同実施事務主任の任命について ・美里町スポーツ推進委員の委嘱について
令和4年 5月20日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議 室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町教育振興基本計画策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について ・美里町教育振興基本計画策定会議設置要領の一部を改正する要領の制定について ・美里町学校運営協議会委員の任命について ・美里町地域学校協働本部運営委員会委員の委嘱について
令和4年 6月23日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議 室	・美里町教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について
令和4年 7月26日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議 室	
令和4年 8月29日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議 室	・専決処分事項(令和3年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申)の報告及び承認を求めることについて ・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について
令和4年 9月20日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議 室	・令和4年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申について

令和4年 10月17日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議室	・専決処分事項(令和3年度美里町就学指導委員会にかかる就学答申)の報告及び承認を求めることについて
令和4年 11月22日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・美里町教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の決定について ・美里町物価高騰対策給食費補助金交付要綱の制定について
令和4年 12月19日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議室	・令和4年度美里町臨時就学指導委員会にかかる就学答申について ・美里町中央公民館図書室の管理運営に関する規則の制定について ・美里町文化交流センター図書室の管理運営に関する規則の制定について
令和5年 1月27日 (定例会)	中央庁舎 2階大会議室	
令和5年 2月21日 (定例会)	中央庁舎 第2会議室	・美里町奨学資金貸付の認定について
令和5年 2月25日 (臨時会)	中央庁舎 2階教育長室	・令和5年度教職員人事異動の内申について
令和5年 3月20日 (定例会)	中央庁舎 大会議室	・美里町就学援助費「要保護準要保護児童生徒」の認定について ・令和4年度美里町臨時教育支援委員会にかかる就学答申について ・美里町学校給食費補助金交付要綱の制定について

2 その他の活動状況

令和4年度における、その他主な活動は次のとおりです。

- ・スクールバス運行審議会
- ・美里町教育委員研修(玉名郡長洲町)
- ・熊本県市町村教育委員大会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加者数制限にて開催)
- ・宇城市町教育委員全員研修会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- ・各小中学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各小学校運動会、各中学校体育大会、学習成果発表会
- ・町成人式典

- ・美里町教育の日講演会（講師：瀬古利彦、野口みずき、M 高史）
 - ・美里町文化祭
 - ・町民体育祭（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
 - ・美里町ナイター陸上記録会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
 - ・中学校野球美里大会
 - ・美里町駅伝競走大会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
 - ・美里町新春霊台橋マラソン大会
 - ・宇城地区中学校新人駅伝競走大会
 - ・中学生ソフトテニス美里大会
 - ・中学生女子バレーボール美里大会
 - ・宇城地区高等学校野球美里大会
- 他各種大会行事（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部大会を中止）

美里町教育委員会委員名簿

（令和 5 年 4 月 1 日現在）

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	宮 寄 幸 仁	令和 4 年 12 月 23 日～令和 7 年 12 月 22 日
教育長職務代理者	野 尻 絹 子	令和元年 12 月 23 日～令和 5 年 12 月 22 日
委 員	佐々木 聡	令和 2 年 12 月 23 日～令和 6 年 12 月 22 日
委 員	西 島 聡	令和 3 年 12 月 23 日～令和 7 年 12 月 22 日
委 員	霍 本 輝 子	令和 4 年 12 月 23 日～令和 8 年 12 月 22 日

Ⅲ 事務事業外部評価点検・評価の結果

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	学校教育係	学力向上支援事業	児童生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする。	3,310,186円
2	学校教育係	学習支援員事業	特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に、学級の担任と協力し学習支援を行う。	26,099,702円
3	学校教育係	心の教室、子どもと親の相談事業	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。	2,103,360円
4	学校教育係	学校図書館図書業務支援事業	各学校図書館の業務支援のため、図書司書補等を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。	7,847,496円
5	学校教育係	小学校外国語指導事業	児童が英語に接し、低学年から英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。	2,783,540円
6	学校教育係	地域学校保健委員会補助金事業	学校、地域、家庭の連携のもと、子どもの健康な生活と教育の推進を図るため、中学校区で委員会を設置し活動する。	32,957円
7	学校教育係	学校部活動補助金事業	生徒が協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。	693,000円
8	学校教育係	全校体育補助事業	児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、健康の保持増進と体力の向上を目的とする活動における経費の一部を補助する。	162,000円
9	学校教育係	集団宿泊教室事業	児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。	347,567円
10	学校教育係	芸術鑑賞補助金事業	演劇を鑑賞することによって、心身の調和のとれた発達と人間としての生き方について自覚を深める事業に補助する。	262,505円
11	学校教育係	特色ある教育推進事業	町内小中学校における学校及び地域の特性を生かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、その経費を予算の範囲内で補助する。	500,000円
12	学校教育係	学校運営協議会事業 (コミュニティ・スクール)	保護者や地域の住民が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現を目指し、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進する。	588,800円

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1事業名	学力向上支援事業		担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童・生徒の学力向上支援のため教師の指導力向上を高めることを目的とする			
活動内容	・学力向上の取組の意識付けとして、令和3年度の実績を基に見直し、学力向上アクションプランを作成した。アクションプランは、大きく3つの柱として、「学びの質の向上、学びの環境の充実、学びの土台作り」を挙げ、それぞれの柱ごとに具体的な項目を設定し、合計29の項目を設定している。設定した項目については、学期末に教師の自己評価を実施し、教育委員会へ提出する。教育委員会で集計、分析、対策を行い、次学期の取組の方向性を示す。 ・教育審議員訪問を教師一人あたり年間2、3回実施している。学力向上アクションプランにも記載している「わかる・楽しい授業作り5つの心得」を参観の中心視点として参観し、授業後に授業者と面談を実施している。 ・町内の児童生徒の実態を出し合い、町授業改善の取組のテーマを「子どもが考えを表現できる場を位置づけた授業の創造～根拠や適切な理由をもとに自分の考えを伝え合う子どもの育成を目指して～」と設定した。自分の考えを論理立てて表現することが苦手な児童生徒が多く、授業の中にグループの話し合いや全体協議の時間を設定し、表現力のある児童生徒の育成を目指して取り組むようにした。 ・夏休み休業中に、授業に関わる教師の全員研修を企画した。小学校は、2学期に行う国語科の物語教材を使って、学年部ごとに読み取りの単元計画について協議の時間をとった。中学校においては、道徳が教科化されたことを受けて、全学級で実施する道徳科の授業創造について、外部講師を招いて行った。 ・年間に実施される全国学力・学習状況調査や県学力・学習状況調査の結果を受けて、町内の児童の学力の実態を分析し、対策を考え、各学校へ啓発した。各学校においては、自校の結果を分析し、課題を明らかにし、改善策を立てて実践してもらっている。			
(R4)予算額	予算額		決算額	
(R4)決算額	3,310,698 円		3,310,186 円	
(R5)予算額	予算額			
	3,321,555 円			
担当課	・学力向上アクションプランについては、教師に日々の授業等に意識して取り組んでもらうことが必要である。そのため、教師向けに毎月発行している「教育美里」に、関係記事を随時取り上げ、啓発を図った。また、審議員訪問や校長会議等でもアクションプランの項目を取り上げ、自己評価の結果や各種学力調査の結果との因果関係などを取り上げて啓発を図ることができた。1学期末と2学期末の自己評価を比較すると、29項目中22項目で上昇を見ることができた。特に「めあての提示」「しっかり学ぶ時間の設定」については、高評価となっており、授業にもしっかり定着してきている。 ・教育審議員訪問については、教師一人あたり2、3回実施することができた。教師には、事前に学習構想案の略案を提出してもらっている。そうすることで、教師は、授業で目指す「児童生徒に身につけさせたい力」を明確に捉え、授業の流れを構築することになる。教育審議員は、事前に学習構想案を目にし、改善点や注目点を明らかにし、授業参観を行った。授業後の面談では、まず教師のよかったところを褒め、その後に改善点をアドバイスするように努めた。毎回、感想箋を作成し、当校の管理職にも目を通してもらっている。 ・各校共通の授業改善テーマについては、各学校の校内研修のテーマや視点にも織り込んでもらい、日々の授業実践に生かしてもらっている。教師が話し合いの目的を明確に伝え、児童生徒が自分の意見を準備した上で話し合いに参加するように努めてもらっている。話し合う人数も3～4人程度に絞り、全員が発言しやすい状況を作り、班の意見を全体発表の場で生かすように努める教師が増えてきている。			
自己評価	・夏の全員研修では、小学校は各学年ごとの協議となった。2学期予定の国語科の物語教材。その物語で中心となる課題、最も考えさせたい主題と関わる課題について協議し、その課題に迫るためのその他の課題を話し合った。単元の授業計画ができあがり、2学期に生かすことができた。中学校においては、道徳科の基本的な授業の作り方を外部講師から学んだ。「考え議論する道徳」が言われている。生徒がお互いの意見を出し合い、多様な考えに触れ、道徳的価値の深まりと道徳的実践力につながる授業について研修を行うことができた。			

(外部評価委員の意見)

- 学力向上のためには、授業を担当する教師の指導力の向上が必要である。そのためにもこの様な組織的、継続的事業は重要である。
- 児童・生徒・先生方が意欲的に授業に取り組めるように是非継続してほしい。
- 児童生徒の学力向上には継続的な取組みが欠かせず、事業の効果も表れており維持が妥当である。
- 児童・生徒の学習意欲と学力向上に必要な取組みなので、是非継続してほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2事業名	学習支援員事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・特別支援学級及び通常学級において、さまざまな個性をもった児童生徒に対し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を、学級担任と協力して学習支援を行い自立できるよう支援する。		
活動内容	・町内5校の小・中学校において、学習支援員（外国語指導助手、医療的支援含む）12名の会計年度任用職員を配置し、（砥用小2名・励徳小2名・中央小2名・砥用中3名・中央中3名）学級担任と協力し、取り出し指導等を行った。勤務時間は週30時間勤務である。		
(R4)予算額 (R4)決算額	予算額 26,361,000 円（報酬）	決算額 26,099,702 円（報酬）	
(R5)予算額	予算額 26,889,000 円		
担当課 自己評価	担任以外に学習支援員を配置することにより、発達障がいを含む障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、よりきめ細かで適切な教育的支援を図ることによって児童生徒の自立に繋がっている。 また、学力低下を防ぐことにもなっている。		

（外部評価委員の意見）

- 学習支援員の先生方は担任にとっても、また、子供たちにとっても必要不可欠であるので継続してほしい。
- 是非継続してほしい。
- 児童・生徒の自立、学力低下防止のために学習支援員の配置は必要である。
- 学習支援員は必要不可欠なので継続してほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3事業名	心の教室、子どもと親の相談事業		担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努める。			
活動内容	・小学校2校(砥用小・中央小1名兼務)、中学校2校(砥用中・中央中1名兼務)にそれぞれ配置し(合計2名)、人間関係や生活習慣等に悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努めた。また、子どもや保護者との面談、また相談内容によっては、SCやSSWとの連携を図り、きめ細かな支援ができた。 ・1校あたり年間480時間程度勤務(約週12時間、月48時間程度の勤務目安)			
(R4)予算額	予算額		決算額	
(R4)決算額	2,116,000 円(報酬)		2,103,360 円(報酬)	
(R5)予算額	予算額			
	2,231,000 円			
担当課 自己評価	悩みや不安を抱える児童生徒及び保護者に対し、気軽に相談できる環境づくりに努め、保護者と連携強化を図ったことで、悩みや不安の軽減あるいは解消につながっているが、保護者との信頼関係を築くのは容易ではなく、苦慮しているケースもある。 中長期的な心のケアが必要な児童生徒が継続しているため、本年度も個人面談をすることによって、一人一人の状況把握とケアを行うことができた。令和2年度からは特に、新型コロナの影響で不安を抱えている児童生徒の相談に応じている。			

(外部評価委員の意見)	
●担任とは違った視点で子供と接することが出来、新たな気づきも出てくるので、学校にとっては非常に有意義な事業である。 ●年鑑を通し相談人数及び回数をしっかり把握する必要性を感じます。生徒個人のその後にも大きく影響する大切な事業と思います。 ●生徒・児童・保護者の利用しやすい環境で継続してほしい。 ●悩みや不安を抱える児童・生徒やその保護者を支援していくことは、非常に重荷であり事業の継続は妥当である。 ●児童・生徒や保護者の方々が気軽に話せる環境づくりを引き続きお願いしたい。	

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4事業名	学校図書館学校司書業務支援事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・各小中学校図書館の業務支援のため、学校図書業務を担当する職員を配置し、児童生徒の学習の基礎となる読書活動支援を図る。		
活動内容	・各小中学校図書館へ会計年度任用職員の学校図書業務を担当する職員(各学校1名で計5名)を配置し、学校図書館の整理や児童生徒の図書利用の拡大を図る為の年間取組計画(各学校教育諸計画の図書館教育)の作成や、図書活動支援を行った。 ・平成29年度より、リーダー的存在となる学校図書管理員を学校図書指導員と位置づけ、各小中学校の図書指導巡回を行っている。		
(R4)予算額 (R4)決算額	予算額 7,848,000 円(報酬)	決算額 7,847,496 円(報酬)	
(R5)予算額	予算額 8,208,000 円		
担当課 自己評価	学校図書館の業務は、児童生徒の読書活動支援に不可欠であり、主体的学習を援助し、図書館の整理、保管に必要な業務である。 また、職員自身も司書資格を取得するなど自己研鑽をはかり、現在司書3名であるが、図書利用をさらに進める体制は確立している。		

(外部評価委員の意見)

- 図書の専門知識は、図書館教育には欠かせない側面であるので継続してほしい。
- 担当職員の質の維持、向上を図るとし、少しずつの拡充は必要かと思う。
- 是非継続してほしい。
- 読解力、理解力、表現力、判断力等を身につけるためには、読書習慣が効果的だと思われ、読書活動の支援は必要であると考え。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5事業名	小学校外国語指導事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・低学年から英語に接し、英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。		
活動内容	小学校において、会計年度任用職員の外国語指導助手2名、ALT2名を配置している。担任と協力し、楽しく基本的な外国語活動を行う中で、コミュニケーション能力の育成を図っている。新学習指導要領の全面実施により、3・4年生は年間35時間の「外国語活動」、5・6年生は教科「外国語科」として年間70時間を英語教育に充てている。 また、美里町独自の事業として、1・2年生の外国語活動の授業時数を20時間確保することにより、他市町村に先立った外国語教育を行っている。授業には、配置した外国語指導助手やALTが参加し、担任の助手として、子どもたちに外国語によるコミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成に関わっている。		
(R4)予算額 (R4)決算額	予算額 173,000 円(消耗品費) 2,696,000 円(報酬)	決算額 97,712 円(消耗品費) 2,685,828 円(報酬)	
(R5)予算額	予算額 173,000 円(消耗品費) 2,703,000 円(報酬)		
担当課 自己評価	英語を通して、他国の言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っている。 また、低学年の頃から外国語指導助手やALTと関わることで、異文化・国際理解をより早い段階で学ぶことができている。		

(外部評価委員の意見)

- 外国語指導助手やALTの先生方は、創意工夫して英会話に対する子供たちの興味関心を高められているので、是非継続してほしい。
- 良い育成には良い指導者が必要と思います。良い指導者が継続したい環境を作るために拡充は必要と思う。
- 授業以外でもALTの先生とよりたくさん接する時間を持ってほしい。
- 小学生のうちから英語を学んだり、外国の方と接する機会を持つということは意義のある体験の提供であると思う。
- 他の市町村より先立った教育を今後も継続してほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6事業名	地域学校保健委員会補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・学校、地域、家庭の連携のもと、中学校区で設置された学校保健委員会により、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図る。		
活動内容	・各中学校区において地域学校保健委員会を設置し、学校、地域、家庭の連携のもと、児童生徒の健康な生活と教育の推進を図った。 ・平成29年度より、教育の日講演会を両地域学校保健委員会、美里町PTA連合会と合同で開催実施している。(令和4年度は中止。) ・中央中校区において、毎年講師を招いて保・小・中連携として、特別支援教育関係の講演会を開催しているが、令和4年度においてはコロナの影響で中止となっている。 会議等はできなかったが、資料作成等のみとなった。 ・砥用中校区においては、運営委員会4回、すこやか委員会2回を計画していたが、令和4年度においてはコロナの影響で中止となっている。 会議等はできなかったが、各学校での取り組みは継続している。		
(R4)予算額 (R4)決算額	予算額 80,000 円(補助額)	決算額 砥用地区 22,957 円 中央地区 10,000 円 計 32,957 円	
(R5)予算額	予算額 80,000 円		
担当課 自己評価	地域内の学校保健に関する問題点の解明に関係機関との連携を密にし、児童生徒の豊かな健康生活の向上に寄与している。また、就学時の情報共有にも有効であり、その後の児童生徒への対応へも繋がっている。		

(外部評価委員の意見)

- 保・小・中連携はとても大切であり、教職員や地域の方々が共通の方向に一緒に進むことが出来有効である。
- 各中学校区の取組みを町全体での取り組むとすると、より効果を期待できると思う。
- 児童・生徒の健康な生活の維持向上に向け、学校、地域、家庭が連携して活動を行うのは重要である。
- 中央校区、砥用校区と分けて活動する必要があるのか。町全域で工夫して活動が出来ないか。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

7事業名	学校部活動補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・生徒の協調性、責任性、連帯感を育成し、豊かな人間性を培う部活動における経費の一部を補助する。		
活動内容	・砥用中(5部) 315,000円補助(63,000円×5部) 野球部、サッカー部、柔道部(休部)、剣道部、陸上部、バレー部 ・中央中(6部) 378,000円補助(63,000円×6部) 野球部、テニス部、サッカー部、バレー部、文化部、陸上部 ※補助金の主な支出内容は、試合参加費負担金、及び道具類の購入 ※小学校はH30年度より社会体育へ移行		
(R4)予算額 (R4)決算額	予算額 756,000 円(補助額)	決算額 砥用中 315,000 円(5部) 中央中 378,000 円(6部) 693,000 円	
(R5)予算額	予算額 756,000 円		
担当課 自己評価	中学校では部活動をとおり、体力の向上と技能の習熟、人間力向上を図っており、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力、コミュニケーション能力を育むためにも必要である。また、保護者の経済的負担軽減にもつながっている。		

(外部評価委員の意見)

- 経済的負担軽減のために最大限の支援をお願いしたい。
- 各学校への確認の必要性あり。活動内容(大会等)に応じ拡充も必要と思う。
- 生徒数の減少で部活動の継続も大変だと思いますが、学校や町の活力になるもので経費の補助は継続してもらいたい。
- 部活動の経費の一部を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減することは必要である。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

8事業名	全校体育補助金事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童が適切な運動の経験をすることと、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を目的とする。		
活動内容	・砥用小 54,000円補助 5-7月: ジョギングにおける体力づくり、50m走、水泳、フラグフットボール、タグラグビー 8-10月: 陸上、50m、100m、リレー 11-12月: 持久走、ミニバス、Tボール 1-3月: ジョギング、サッカー、ミニバスケット、長縄とび ・勸徳小 54,000円補助 1学期 体づくり運動、スポーツテストに向けて 2学期 体づくり運動、ラジオ体操、走の運動 3学期 体づくり運動、短縄、長縄 ・中央小 54,000円補助 5月: 運動会練習 6-7月: ボール運動、鉄棒、一輪車など 9-3月: 陸上、持久走、ボール運動、鉄棒、縄跳び、幅跳び、竹馬など (毎朝の運動タイム8:00~8:15まで実施) ※小学校部活動はH30年度より社会体育へ移行		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	162,000 円(補助額)	162,000 円	
(R5)予算額	予算額		
(R5)決算額	162,000 円		
担当課 自己評価	学校部活動が社会体育へ移行した平成30年度から、クラブに加入し運動している児童と、加入していない児童の運動(体格)格差が出てきており、その差は大きくなる傾向にある。 10歳前後の運動習得に最適な時期に運動の経験をしなければ、生涯にわたって適切な運動の経験のない大人へ成長する可能性もあるため学校全体で取り組む全校体育は必要である。		

(外部評価委員の意見)

- 運動用の備品を揃えるためにも補助金ありがたい。
- 学校部活動の社会体育への移行に伴って生じた児童の運動(体格)格差を全校体育で補おうとするねらいは評価できるものであり、補助金の支出は妥当である。
- スポーツをしない児童が多い中、この様な取り組みは必要であると思います。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

9事業名	集団宿泊教室事業	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・児童生徒が集団生活を通して基本的な行動様式の定着や野外活動を通じて心身の鍛錬に努める事業に補助する。		
活動内容	・中学校1年生、小学校5年生を対象に少年自然の家等を利用し、集団生活を通して基本的な行動様式の定着を図るとともに、野外活動を通して心身の鍛錬を行った。 ・小学校の主な活動(1泊2日) ウォークラリー、フォトスタンドづくり・アスレチック、スコアオリエンテーリングなど 砥用小学校:豊野少年自然の家(36,000円) 励徳小学校:豊野少年自然の家(24,000円) 中央小学校:豊野少年自然の家(91,610円) ・中学校の主な活動(1泊2日) フィールドワーク、火起こし体験&昼食準備、ウォークラリーなど 砥用中学校:豊野少年自然の家(75,973円) 中央中学校:豊野少年自然の家(119,984円)		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	小学校 196,000 円 中学校 196,000 円	小学校 151,610 円 中学校 195,957 円	
(R5)予算額	予算額 小学校 298,000 円 中学校 194,000 円		
担当課 自己評価	集団生活を通して基本的な行動様式が図られている。 また、小小連携・中中連携により合同開催で活動を行うことで、町内の子ども達が学校間を超えた繋がり、ふれあいを通し、相互の親睦を深めることができる。		

(外部評価委員の意見)

- 効果的な活動なので、今後も実施していくために事業に係る補助を継続してほしい。
- 小小連携・中中連携の活動は、将来の町の人とのつながりを築くうえでも意味のあることだと思う。
- 児童・生徒にとっても楽しみにしている事業だと思われる。また、普段の学校生活で得られるものとは違った学びの場でもあると思う。
- 中央・砥用地区が合同で行われることは児童にとっても良い経験となる。普段の生活とは違った生活活動が出来るのも貴重な機会であり、今後も継続してほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

10事業名	芸術鑑賞補助金事業		担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・演劇や演奏会を鑑賞することにより、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を構築する自主的、実践的な態度を育てるとともに自己を生かす能力を養う。			
活動内容	・小中学校で実施する演劇・演奏会鑑賞の事業に対して経費の補助を行う。 励徳小学校:太鼓芸能集団 紬衣 (演奏 60分) 37,000円 中央小学校:劇団ドリームカンパニー (演奏 60分 2回公演) 173,000円 砥用中学校:太鼓芸能集団 紬衣 (演奏 60分) 52,505円 ・町補助(1人当たり1,000円予算)にて事業実施 ・今年度(R5)は、全学校開催予定としている。			
(R4)予算額	予算額		決算額	
(R4)決算額	小学校	332,000 円	小学校	210,000 円
	中学校	204,000 円	中学校	52,505 円
(R5)予算額	予算額			
	小学校	298,000 円		
	中学校	194,000 円		
担当課 自己評価	小中学校で実施する演劇、音楽鑑賞等の優秀な文化・芸術に親しみ、また、触れる機会を提供し、感性や教養、「豊かな心」の育成につながっている。			

(外部評価委員の意見)

- 個人としてはなかなかできない貴重な体験なので事業に係る補助をお願いしたい。
- 一人当たり予算で各校に差も出るため、小小連携、中中連携で文化交流センター等を利用した鑑賞も検討してはどうか。
- 演劇・演奏会等の鑑賞をする機会を確保するうえでも補助は妥当であると考えられる。
- 様々な芸術鑑賞に触れることは、児童・生徒の感性を高めるうえで必要な事である。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

11事業名	特色ある教育推進事業(教育寄附金充当分も含む)	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	・町内小中学校における学校及び地域の特性を生かした特色ある教育活動へ積極的な取り組みを推進する学校に対して、その経費を支給し、特色ある教育の推進を図ることをも目的とする。		
活動内容	・創意工夫を生かした学校教育の充実と児童生徒の体験的学習活動の充実を図るため、各学校長の裁量を発揮した特色ある教育推進を行った。 ○砥用小学校 環境整備、読書活動の充実、授業の充実、水のめぐみ(米作り)、プランターづくり、児童集会・読み聞かせ、いのちの学習など ○励徳小学校 茶道教室、花いっぱい運動、ようこそ先輩、ICT機器の活用、体育関係など ○中央小学校 命の学習、指導力向上(学習プリント)、こころの教育、学校園整備など ○砥用中学校 輝きと潤いのある学校づくり、読書活動推進、校内花いっぱい推進、ICT・教育機器整備、人権問題(ミナマタ)学習など ○中央中学校 教職員スキルアップ、豊かな心をはぐくむための文化体験、学校や地域が連携を図るための事業、教育環境整備など		
(R4)予算額	予算額 1,500,000 円	決算額	1,500,000 円
(R4)決算額	(うち、教育寄附金1,000,000円)		(うち、教育寄附金1,000,000円)
(R5)予算額	予算額 1,500,000 円		
	(うち、教育寄附金1,000,000円)		
担当課 自己評価	各学校長の裁量を発揮しながら、各学校それぞれ地域の特性を生かした、特色ある教育活動の推進に取り組まれており、この事業は各学校において非常に重要である。 また、令和4年度は寄附者の意向もあり、教育寄附金分を増額補正している。		

(外部評価委員の意見) ●校長の裁量で運営できるので非常にありがたいので継続してほしい。 ●良い事業で成果も29項目中22項目で上昇とあり継続してもらいたい。 ●寄付された方が、ソフト面での成長を希望されているということも踏まえて、子供たちにとって心に残る学校生活に活用してほしい。 ●各学校長の裁量により取り組める事業でもあり、各学校の特色ある教育活動を今後も期待したい。 ●各学校特色有を活かした取り組みがあり、児童・生徒も貴重な経験が出来ているのではないかなと思う。			
--	--	--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

12事業名	学校運営協議会事業 (コミュニティ・スクール)	担当課	学校教育課 学校教育係
事業目的	保護者や地域の住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現を目指す。本町では、令和3年度からコミュニティ・スクール(国版)を導入し、学校評議員制度から学校運営協議会制度へ移行することで、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進する。		
活動内容	○ 各学校単位に、学校運営協議会を設置している。第1回と第5回は中学校区の小・中学校合同で開催した。第2回～第4回は学校の特色や創意・工夫を生かせるように、各学校単位で開催した。特に5回は、学校運営協議会委員の資質向上のための研修の機会にしている。 ○ 学校運営協議会委員の構成は、次の通りである。 ・地域住民4名 ・保護者1名 ・地域学校協働活動推進員1名 ・教育委員会 若干名 ・学校関係者 若干名 昼間の開催であるが、出席率は高い。学校運営協議会委員の意識の高さがうかがえる。 ○ 学校運営協議会の活動は、主に次の通りである。 ・学校や地域の課題の共有や未来の担い手をどう育てるかを熟議する。 ・学校運営に関する評価、協働活動、PTA活動等の協議や実働をする。 ・3つの機能の行使する。 ◇校長が作成する学校運営に関する基本方針の承認する。 ◇学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べることができる。 ◇教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。 年1回はテーマを決めての「熟議」をお願いしているが、各学校の課題に応じた「熟議」ができるようになった。		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	690,000 円	588,800 円	
(R5)予算額	予算額		
	690,000 円		
担当課 自己評価	めざす子供像を地域・家庭・学校が共有し、実現に向けて協働するためには、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進は有効である。2年目になり、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が目指すものが、学校や運営協議会委員に浸透してきた。		

(外部評価委員の意見)	
●学校地域住民が協力して小さくても活気ある学校づくりに努めてほしい。 ●小さな学校ならではの保護者、地域住民、学校の顔が見える関係性を活かし、その三者の連携の下、地域とともにある学校づくりを今後も推進してほしい。 ●学校・地域の連携は非常に大切であり、意見を出し合う機会を作り協議していくことは重要である。	

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会教育係	美里町人権教育推進協議会補助金事業	町内における人権教育の推進及び啓発活動の浸透を図ることを目的とする。	100,000円
2	社会教育係	美里町青少年育成町民会議補助金事業	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。	256,000円
3	社会教育係	美里町放課後子ども教室事業	授業日の放課後において、小学校の施設を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等を通し機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 ※令和4年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0円
4	社会教育係	歴史探訪講座等の開催事業	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。 ※令和4年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、全4回の計画をしていたが、2回(R4.12.15、R5.2.22)のみを開催。	20,000円
5	社会教育係	美里町文化協会補助金事業	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。	325,000円
6	社会教育係	地域学校協働本部事業	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して様々な活動を行う。さらに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する。	3,457,087円

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1事業名	人権教育推進協議会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内における人権教育の推進及び啓発活動の浸透を図ることを目的とする。		
活動内容	人権教育の研究と実践及び各種研修会の開催と各種研修会への参加。人権教育の研究と実践については、6月に人権教育推進協議会総会を行い、総会后に、人権啓発DVDを視聴、研修会を行った。8月には町人権教育推進協議会・町青少年育成町民会議・社会を明るくする運動町推進委員会による3団体合同で“社会を明るくする運動 美里町民の集い(美里町人権教育推進大会)”として人権啓発・学習につながる講演会を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため関係団体と協議した結果、中止となった。人権教育の各種研究への参加については8月に第49回宇城人権教育研究大会が人数制限を設けて行われ、町職員のみで研修に参加した。また、10月には第50回熊本県人権教育研究大会が行われ、職員の参加・人権パネルの展示を行った。		
(R4)予算額 (R4)決算額	100,000 円	決算額 100,000 円	
(R5)予算額	100,000 円	予算額	
担当課 自己評価	人権は、人が生まれながらにして持っている基本的な権利であり、最も尊重されるものである。また、誰もが生涯において、人権に対する学びや学習、人権について考える機会が必要であると考え。4年度は“社会を明るくする運動 美里町民の集い”がコロナ感染症拡大により中止となり町民への学習機会の提供ができなかった。今後の人権研修会については、DVDやネット環境を活用した配信、そのほか、町民に向けた啓発・広報活動に力を入れていきたい。		

(外部評価委員の意見)

- 地域全体の人権意識を高めるためにも継続してほしい。
- 人権教育学習はこれから先大きく必要と思う。更なる浸透を図ってもらいたい。
- 人権課題は年々変化して来ており、従前では問題とはならなかった言動が今日では人権侵害につながる場合もあり、継続した人権教育及び啓発活動は必要である。
- 人権について正しく学び理解していくことが必要である。今後も今まで以上に啓発活動を継続してほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2事業名	青少年育成町民会議補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	青少年問題の重要性に鑑み広く町民の総意を結集し、次世代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。		
活動内容	補導部会と育成部会に分けて活動を行っており、補導部会は毎月1回の巡回指導を実施している。(4年度においても、ふるさと祭り・やまびこ祭りは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため祭りが中止となったため、各祭りにおける補導指導においても中止した。毎月の青パトによる巡回においては、中止や主に職員のみでの実施となった。)育成部会については、子どもの育成を図ることを目的として、町PTA連合会で取り組んでいる子ども110番事業に対し、防犯フラグを購入し、町PTA連合会を通じて配布した。		
(R4)予算額 (R4)決算額	256,000 円	決算額	256,000 円
(R5)予算額	256,000 円	予算額	
担当課 自己評価	令和4年度においては、総会(書面会議)や各種イベントなどが中止となり、活動する機会が少なくなったが、次世代を担う青少年の健全育成のためには、近年のスマホ依存によるネットやライン、SNS等における青少年問題への啓発や教育をすすめるため、子どもたち・子育て世代の保護者の方々、PTA等の各種団体を含む全体で協議したい。		

(外部評価委員の意見) ●宇城の他の地域に比べ落ち着いている所もあるが、インターネットなどによるトラブルが心配な面もあるので学校や地域と連携して進めてほしい。 ●青少年育成町民会議補助金事業に活動や目的が重なるところがあると思う。 ●次世代を担う青少年の健全な育成を図ることは重要であり、取組みの継続は必要である。 ●巡回指導や青少年問題が非行等の被害防止につながることになるので継続して取り組んでいただきたい。	
--	--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3事業名	放課後子ども教室事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	授業日の放課後において、小学校の施設等を使用し、子どもたちの安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強・スポーツ・文化活動など、地域住民との交流活動等を通し機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	町内の全小学校で実施していた放課後子ども教室については、県・町内の新型コロナウイルス感染状況により、町・学校・スタッフ等と協議し中止(3小学校) ※予算支出用途(スタッフ謝礼・消耗品等)		
(R4)予算額 (R4)決算額	予算額 2,774,000 円	決算額 0 円	
(R5)予算額	予算額 2,774,000 円		
担当課 自己評価	町の現状として、核家族化、地域の繋がりの希薄化、共働き世帯の増加などがあるが、本事業は子どもたちの居場所づくりや子育てを地域住民の方々が主となり参画して行う地域教育を推進する取り組みのひとつと考える。しかし、令和2年度～令和4年度については、新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、関係者等と協議の上、事業を中止した。今年度は、年度当初より運営スタッフの確保に取り組んだが、スタッフの高齢化等により必要人員の確保が困難となったため、実施を見送っている。今後、新たなスタッフ候補として、地域人材の発掘・育成が進まなければ、再開は難しいと思われる。		

(外部評価委員の意見)

- 人員確保等困難な面も多いが、出来るだけ実施してほしい。
- 必要性和事業の重要性の再確認をすべきだと思う。
- 地域学校協働本部事業や学童と目的や活動が重なるところがあると思うので、青少年育成町民会議補助金事業も併せて検討してみてもどうか。
- 放課後の居場所づくりの一つとして、また、子供たちの安心・安全な活動拠点の確保という観点から本事業の実施は重要と思われる。
- 放課後子ども教室は必要だと思いますが、スタッフの確保が難しいのであれば、学童保育の充実を検討する必要がある。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4事業名	歴史探訪講座等の開催事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	石橋をはじめとする多種多様な文化財を活用し、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高まるよう歴史探訪講座(生涯学習講座)や説明会・研修会を開催する。		
活動内容	年4回を計画し、定員30名を募集したところ、25名の申し込みがあった。 第1回は、11月10日(木)に、『肥後の石工』題して東陽村石匠館館長の上塚寿朗さんによる講話を開催し、11名の参加があった。第2回目は、2月22日(水)に、『美里町の中世城跡について』と題して、美里町城跡専門調査員の大田幸博さんによる講話を開催し、17名の参加があった。		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	40,000 円	20,000 円	
(R5)予算額	予算額		
	40,000 円		
担当課 自己評価	年度当初は、4回の講座開催の計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、2回の開催となった。延べ28名の参加があり、受講生に、郷土の歴史・文化に対し理解と関心が高めていただくことができた。今後も、町の伝統文化の継承や文化財保護意識の向上を図るため、予算は少額だが事業を継続していきたい。		

(外部評価委員の意見)

- 出来る範囲で継続してほしい。
- 町内の文化財への関心はもっと力を入れるべき事業と思う。
- 意外と美里町の歴史や文化について知らない町民も多いのではないかと思いますので、本事業の継続は意義あるものだと思う。
- 美里町の石橋をはじめとする文化財への理解と関心を高めるためにも町民が集う町文化祭等で開催することで有意義な事業になるのではないかと思います。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5事業名	美里町文化協会補助金事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	町内各文化関係団体相互の連絡調整を図るとともに、本町文化振興に寄与する。		
活動内容	年1回の主催事業の実施と文化祭を開催した。主催事業については、7月に清和文楽による七夕コンサートを実施し、約220名の方々が観覧された。コンサート開催時には、協会の作品展示によるサークル展も同時に開催し、多くの方が来場された。 文化祭については、所属サークルや幼・保育園、小・中学校44団体が展示の部、ステージ発表の部に分かれて開催した。展示の部については、発表の部の約2週間前から作品の展示を行い、多くの方の来場があった。発表の部については、11月3日(文化の日)に開催し、終日賑わった。		
(R4)予算額 (R4)決算額	325,000 円	決算額	325,000 円
(R5)予算額	予算額 325,000 円		
担当課 自己評価	会員の方々の協力により、当初の計画通り、主催事業及び文化祭を実施することができたことは、評価できていると考えている。 総会資料を精査した結果、予算については適正に執行されており、行事等も多岐にわたり、事業の目的達成のために活動されている。予算額の大部分を会費・補助金が占めており補助金については現状維持が望ましい。		

(外部評価委員の意見) ●中々少ない発表の場だと思うので継続してほしい。 ●普段の文化活動の発表の場を確保するうえでも補助金の支出は妥当であり、関係者にとっては文化祭等の開催は練習等の励みになっていると思う。 ●更なる創意工夫をお願いしたい。 ●中々少ない発表の場だと思うので継続してほしい。
--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6事業名	地域学校協働本部事業	担当課	社会教育課 社会教育係
事業目的	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して様々な活動を行うことを目的とする。		
活動内容	○コーディネート会議 推進員6名、教育委員会若干名、必要に応じて学校関係者を加えて、年8回、地域と学校をつなぐコーディネートの具体的方法・内容を検討した。 ○学校支援の会 学校支援団体及び個人、推進員、学校関係者、教育委員会で構成し、交流や穏やかなネットワークづくりのために年2回開催した。 ○地域学校協働本部運営委員会 行政、学校、地域住民、地域学校協働活動推進員で構成し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進の方向性や評価を行うため、年2回開催した。 ※予算支出用途(①地域学校協働本部運営委員会委員報償費②地域学校協働活動推進員報償費③地域学校協働本部運営委員会費用弁償④地域学校協働活動費用弁償⑤上田アドバイザー報酬)		
(R4)予算額 (R4)決算額	3,767,746 円	決算額	3,457,087 円
(R5)予算額	3,234,000 円	予算額	
担当課 自己評価	地域学校協働活動の要請数は実績32回で多様な活動が展開できた。学校支援ボランティアの人材バンク登録は実績80名。地域推進員5名が地域と学校をつなぐ「コーディネート」の中心的役割を果たし、学校からの要望に適切な支援ができた。「地域からの学校支援」だけでなく、「学校からの地域貢献」も数は少ないが、次第にできるようになってきた。「双方向」視点をさらに目指すようにする。		

(外部評価委員の意見)

- 地域全体で学校を盛り上げていく取組なので継続してほしい。
- 青少年育成町民会議補助金事業と放課後子ども教室事業と合わせて検討し効果を期待できる事業だと思う。
- 学校支援ボランティアの人材バンク登録は80名は素晴らしい実績であり、今後も多彩な活動が期待できる。
- 各関係の方々が学校や地域の方々と連携して取組を進めてほしい。取組みや活動が見える形で広報等でも掲載をお願いしたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

事務事業外部評価点検・評価項目

番号	担当係	事業名	事業内容	決算額
1	社会体育係	第31回 美里町ナイター陸上競技記録会 (委託料)	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。 ※令和4年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0円
2	社会体育係	第37回 中学校野球美里大会 (補助金)	中学生の健全な精神と身体を発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。	141,903円
3	社会体育係	令和4年度町民体育祭 (町体育協会予算)	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。 ※令和4年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0円
4	社会体育係	第19回美里町駅伝競走大会 (町体育協会予算)	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性ある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。 ※令和4年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0円
5	社会体育係	第52回 美里町新春霊台橋マラソン大会	走ることはすべての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまですべての人に適切な運動である。新春にふさわしく、家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。	259,029円
6	社会体育係	第43回宇城中学校新人駅伝大会	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組みられている。こうした中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。	44,443円
7	社会体育係	第27回 中学生ソフトテニス美里大会	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生の育成と相互の親睦を図ることを目的に実施。	16,770円
8	社会体育係	第51回 中学生女子バレーボール美里大会	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施。	94,228円
9	社会体育係	第41回 宇城地区高等学校野球美里大会 (委託料)	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施。	220,157円

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

1事業名	第31回美里町ナイター陸上記録会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	参加者相互の交流と連帯を深め、自己の体力を養いスポーツの基礎である陸上競技の技術を身につけ、少しでも高い記録に到達できるよう挑戦することを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、8月6日(土)に美里町総合運動公園グラウンドにおいて、新型コロナウイルス感染症対策としてフィールド競技を中止し、トラック競技21種目で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。 ※参加費なし ※予算支出用途(消耗品費・仮設照明の設置手数料)		
(R4)予算額 (R4)決算額	220,000 円	決算額	0 円
(R5)予算額	220,000 円	予算額	
担当課 自己評価	小中学生の練習の成果を発揮する場として有効と思われる。昨年までは、中学生にとっては9月に開催される中体連に向けて、個人の实力を知る格好の機会であり意識の高揚に繋がると考えていたが、令和5年度から中体連の大会が県大会も含めて7月下旬までに行われることにより、開催時期等を検討する必要があると思われる。		

(外部評価委員の意見) ●参加者の確保が最大の課題だと思う。 ●近年の酷暑は厳しい環境の中での大会なので、大会内容を検討し改善された方が良いと思う。 ●令和5年度は開催時期を変更して実施されたものと思うが、その結果を検討して次年度以降に活かしてもらいたい。 ●少子化が進んでおり、参加者も減少しているため今後も継続をしていくか検討する必要がある。
--

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ <u>改 善</u> ・ 完 了
-----------------	---

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

2事業名	第37回中学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と身体の発達を期し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、近隣中学校との親睦を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町中学校野球実行委員会」に補助金を支出し、9月10・11日(土・日)の2日間、美里町総合運動公園グラウンド及び町営球技場において宇城管内のチームを対象に、中体連後の新人戦と位置付け6チーム(1チームは前日棄権)の参加で開催した。 ※参加費8,000円/チーム(砥用中・中央中は免除) ※予算支出用途(メダル・消耗品費等) ※結果:優勝(鶴城中) 準優勝(不知火中・小川中合同チーム)		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	150,000 円	141,903 円	
(R5)予算額	予算額		
	150,000 円		
担当課 自己評価	中体連後、夏休みの練習の成果を試す有効な大会と思われる。参加校を宇城管内のチームとして実施しているが、部員の減少による休部や合同チームが増えてきているので参加地域の検討が必要と思われる。 また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、町外の各種行事及び大会等の日程が変わって来ている為、開催時期についても検討が必要と思われる。		

(外部評価委員の意見)

- 部員減少に伴う休部や合同チームの増加を踏まえ、実施要領の検討を行い継続してもらいたい。
- 部員の減少、休部や合同チームが増えてきているので参加内容を改善する必要がある。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

3事業名	町民体育祭	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	広く町民にスポーツを普及し、健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、併せて明るく豊かな町づくりに寄与することを目的に実施。		
活動内容	総合運動公園グラウンド・カントリーパークグラウンド・総合体育館・砥用中学校体育館・砥用小学校体育館において開催予定だった球技の部(4種目)、10月9日(日)にカントリーパークグラウンドにおいて開催予定だったスポーツ大会の部ともに7月20日(水)に開催したスポーツ協会の支部長会議において中止を決定した。 ※参加費なし ※予算支出用途(施設使用料・種目協会運営費・消耗品費等)		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	550,000 円	0 円	
(R5)予算額	予算額		
(R5)決算額	550,000 円		
担当課 自己評価	スポーツ協会の支部長会議において、現在の各支部対抗の大会では継続が難しいという意見が多数を占めたので、事業の目的達成の為、美里町民体育祭を美里スポーツレクリエーションに名称を改め、参加についても幅広い年代が自由に参加できる大会とした。今後も参加者がより楽しめる大会とするため創意工夫が必要と思われる。		

(外部評価委員の意見)

- コロナの影響で中止になった多くの行事が、存在するかしないかという時期だと思う。支部の中の選手決めや強制参加を強いられるなど大変なことも多いが、年代を超えた地区の人と交流する貴重な機会でもあると思う。
- 令和5年度の美里町レクリエーション大会の実績等を検証し、今後活かしてほしい。
- スポーツを通じて地域連携し交流が出来ることはとても良いことだと思う。小さい子供さんから年配の方々まで楽しめる内容で開催していただきたい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ <u>改 善</u> ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

4事業名	第19回美里町駅伝競走大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	町民の健全な精神と体力の向上を図り、長距離選手の育成と連帯性のある町づくりに寄与し、併せて郡市対抗駅伝競走大会の選手選考を兼ねて実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、12月11日(日)町内駅伝コース(14区間・全長27.2km)において開催を予定していたが、スポーツ協会の支部長会議において中止を決定した。 ※参加費なし ※予算支出用途(区間賞メダル・アスリートビブス・消耗品費等)		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	310,000 円	0 円	
(R5)予算額	予算額		
	310,000 円		
担当課 自己評価	地域の連帯感を醸成するには効果があると思われる。 また、郡市対抗駅伝大会の選手選考の良い機会と考えられる。少子高齢化や人口減少に伴い、選手選考等が難しいとの意見が出ている為、7区間17.1kmに区間数及び距離を縮小して開催する。		

(外部評価委員の意見)

- 担当課の自己評価と同じで縮小てよいと思う。
- 選手選考等が難しいため縮小してもいいのではと思う。
- 区間数や距離を縮小して開催する場合も沿道の応援や盛り上がり寂しくならないように工夫が必要だと思う。
- 令和5年度は区間数と距離を縮小しての開催とのことなので、その結果を検討してほしい。
- 今年から周回コースということで選手の方々が参加しやすくなっていると思う。今度も内容等を改善しながら健康維持を目標に開催していただければと思う。事業名も「駅伝競走大会」ではなく「リレーマラソン」等にしてイメージを改善していく必要もある。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ <u>改 善</u> ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

5事業名	第52回美里町新春霊台橋マラソン大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	走ることは全ての運動の基礎であり、体力づくりや健康づくりに欠かせないもので、幼年から高齢者に至るまで全ての人に適切な運動である。新春にふさわしく家庭の「ふれあい」と地域仲間の連帯性を深めることを目的に実施。		
活動内容	「美里町陸上競技協会」に委託し、1月1日(日)総合運動公園グラウンド発着コース(9種目・男女年齢別)において町内外より228名(町内43名、町外185名)が参加して開催した。 ※参加費 高校生以上1,000円、小中学生500円、未就学児(無料) ※参加費は、一般会計の歳入(雑入)として処理。 ※予算支出用途(参加賞・メダル・賞品・アスリートビブス・消耗品費等)		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	335,000 円	259,029 円	
(R5)予算額	予算額		
(R5)決算額	335,000 円		
担当課 自己評価	町内へ帰省中の参加者や毎年楽しみにされている町外からの参加者が多数を占めており、町のPRには一定の効果があると思われる。 年末から年始にかけての準備・大会となり、期日の変更について指摘があるが、町外からの参加者には、元日に行われる大会を楽しみにされている参加者もある。町内からの参加者が少ないので、町内の方への周知等を積極的に行う必要がある。		

(外部評価委員の意見)

- 開催日の変更は毎年の課題である。
- 事業の目的や効果に対し必要性を感じないため縮小した事業で良いと思う。
- 準備に関わる方々の負担はかなり大きい、特色と歴史のある町の催しで、町の活性化には貢献する可能性があると思う。継続するのであれば、ランナーだけではなく懸かる関わる町民も盛り上がる取り組みがあればいいと思う。
- 228名の参加者は実績として十分であると思うが、大会スタッフの負担軽減との兼ね合いが難しいと言わざるを得ない。
- 町のPRとして開催するのであれば周知等もう少し行う必要があるのではないか。日程等も検討する必要がある。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ <u>改 善</u> ・ 完 了
-----------------	---

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

6事業名	第43回宇城中学校新人駅伝大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	中学生の健全な精神と体力増強をめざし、各学校独自の工夫がそれぞれなされ取り組まれている。こういった中でスポーツでも一番苦しいとされている駅伝大会を計画し、スポーツマンシップの高揚と宇城管内の中学生の親睦を深め、冬季トレーニングの成果発揮の場として実施。		
活動内容	2月26日(日)町営球技場スタート・ゴールの駅伝コース(男子・6区間・18.0km)(女子・5区間・12.0km)において宇城管内の中学校より男子15チーム、女子14チームが参加して実施した。 ※参加費2,000円／チーム(砥用中・中央中は免除) ※予算支出用途(レプリカ・メダル・アスリートビブス・消耗品費等) ※結果 男子 優勝(松橋中A) 2位(鶴城中A) 3位(不知火中) 女子 優勝(松橋中A) 2位(小川中A) 3位(住吉中)		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	73,000 円	44,443 円	
(R5)予算額	予算額		
	77,000 円		
担当課 自己評価	新チームになって冬季の練習の成果を試す良い機会と考える。 安全面については、事故等が発生しないよう十分配慮したい。		

(外部評価委員の意見)

●参加チームも多く、新チームのトレーニングの成果を見る有効な大会として機能していると思う。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	---

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

7事業名	第27回中学生ソフトテニス美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生の育成と相互の親睦を図ることを目的に実施。		
活動内容	4月29日(金・祝)を予定していたが、雨天により延期。5月4日(水・祝)にカントリーパークテニスコートにおいて、中体連前の練習の成果の確認の大会として県内各地区の中学校から、男女各12チームの参加により開催した。 ※参加費2,000円／チーム(中央中は免除) ※予算支出用途(入賞賞品・消耗品費等) ※結果 男子 優勝(鶴城中A) 準優勝(中央中・蘇陽中の合同チーム) 女子 優勝(中央中) 準優勝(松橋中)		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	46,000 円	16,770 円	
(R5)予算額	予算額		
	60,000 円		
担当課 自己評価	中体連に向けて練習の成果を試す有効な大会と思われる。県内の強豪校が参加することで町内の中学校のレベルアップにも有効な大会と思われる。		

(外部評価委員の意見)

●宇城圏域を超えて強豪校の参加チームもあるということで、町内の中学校のレベルアップに寄与する大会であると思う。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

8事業名	第51回中学生女子バレーボール美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	宇城管内及び近隣の各市町の中学校バレーボール部の親睦、融和を深めるとともに、生徒の健全な育成を図ることを目的に実施。		
活動内容	5月21日(土)に、総合体育館において中体連前の練習成果の確認の大会として宇城管内及び近隣市町から、5チームの参加により開催した。 ※参加費2,000円／チーム(砥用中・中央中合同チームは免除) ※予算支出用途(入賞賞品・審判謝金・消耗品費等) 結果 優勝(小川中) 準優勝(砥用中・中央中合同チーム)		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	119,000 円	94,228 円	
(R5)予算額	予算額		
	133,000 円		
担当課 自己評価	中体連に向けての練習の成果を試す有効な大会と思われる。 しかし、部員数の減少により合同チームの参加もあり、今後も参加チームの減少が予想される。 また、開催時期が体育大会等の行事等もあり、参加地域及び開催時期の検討が必要と思われる。		

(外部評価委員の意見)

- 中学生にとっては、中体連に向けての練習の成果を試す有意義な大会であると思う。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------

令和4年度 美里町教育委員会事務事業点検・評価シート

9事業名	第41回宇城地区高等学校野球美里大会	担当課	社会教育課 社会体育係
事業目的	高校生の健全な精神と体力を養成し、スポーツマンシップの高揚と技術の向上を図るとともに、地域社会への高校野球の正しい理解を得ることを目的に実施。		
活動内容	「宇城地区高校野球美里大会実行委員会」に委託料を支出し、6月3・4日(金・土)の2日間、総合運動公園グラウンドにおいて、夏の選手権大会熊本県予選に向けた練習の成果の確認の大会として宇城地区及び隣接の高校(合同チーム含む)4校の参加により開催した。 ※参加費10,000円／チーム ※予算支出用途(メダル・審判謝金・消耗品費等) ※結果 優勝(宇土高校) 準優勝(甲佐・矢部・御船高校の合同チーム)		
(R4)予算額	予算額	決算額	
(R4)決算額	340,000 円	220,157 円	
(R5)予算額	予算額		
(R5)決算額	340,000 円		
担当課 自己評価	夏の選手権大会熊本県予選に向けて練習の成果を試す有効な大会と思われる。部員不足による合同チームが今後増えることも考えられるが、高野連と協議しながら開催する必要がある。		

(外部評価委員の意見)

- 有意義な大会であるが、故に実施要領を工夫しながら継続してほしい。
- 宇城地区の大会で部員不足や合同チームでチーム数が少なくなっているため内容を協議する必要がある。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	-----------------------------